

3. 現状建物の耐震診断結果

3-1 診断方針

1) 診断準拠基準

「既存鉄骨鉄筋コンクリート造建築物の耐震診断基準・同解説 2009年改訂版」

(財)日本建築防災協会

「既存鉄筋コンクリート造建築物の耐震診断基準・同解説 2001年改訂版」

(財)日本建築防災協会

2) 診断次数

2次診断をメインとし、3次診断を参考として診断を行う。

3) 仕様計算プログラム

DOC-RC/SRC Ver.8.0.5.4 (株式会社構造システム)

DOC-3次診断 Ver.4.1 (株式会社構造システム)

4) 判定指標

$I_{so} = E_s \cdot Z \cdot G \cdot U = 0.60$ (第2次診断)

5) コンクリート強度

設計基準強度	$F_c =$	20.6	N/mm ²
各階の圧縮試験強度平均値	$\sigma_B =$	16.4 ~ 25.6	N/mm ²
標準偏差	$\sigma =$	0.4 ~ 3.6	N/mm ²
診断時強度	$F_c =$	19.5 ~ 20.6	N/mm ²

6) 鉄筋強度

主筋	: D22	/ 診断時降伏点強度 : $\sigma_y = 343$ N/mm ² (SD30)
	D25	/ 診断時降伏点強度 : $\sigma_y = 392$ N/mm ² (SD35)
帯筋	: 10、13φ@100	/ 診断時降伏点強度 : $\sigma_y = 343$ N/mm ² (SD30)
あばら筋	: 10φ@175	/ 診断時降伏点強度 : $\sigma_y = 343$ N/mm ² (SD30)
	13φ@100~200	/ 診断時降伏点強度 : $\sigma_y = 343$ N/mm ² (SD30)

7) 鉄骨強度

診断時降伏点強度 : 258.5 N/mm²、357.5 N/mm²

8) 柱脚部

非埋め込み型柱脚である為、E0指標とE0B指標のうち小さい方を用いる。

引張においてはアンカーボルトの引張破断強度を用いる。

曲げにおいてはRCの曲げ強度のみを用いる。

せん断においてはベースプレートのせん断終局強度を用いる。

9)入力データ

荷重計算条件	
外周部のスラブの拾い	RC、SRC像は梁面まで拾う
基礎比重の比率	0.00(浮上り計算時に考慮される基礎重量の長期基礎重量計算用軸力に対する比率)
最下層重量の拾い	行う(最下層梁荷重項を節点重量に加算する)
基礎重量の上部構造への考慮	基礎重量の計算を行わない(基礎位置の浮上り抵抗重量や節点重量として考慮しない)
基礎重量計算方法	自動計算(基礎梁、基礎下端レベル、基礎下端から土上端までの距離から基礎自重と土被り重量を各々の単位体積重量に基づき計算し、合算したものを基礎重量とする)
基礎柱・基礎梁重複分の控除	自動(スラブ重量の拾いの「最下層重量の拾い」が拾うであろう場合、又は「基礎形状」が「基礎配置による」「べた基礎」であろう場合は「控除する」、それ以外の場合は「控除しない」)
基礎の単位体積重量(kN/m ³)	24.0
土の単位体積重量(kN/m ³)	20.0

モデル化条件			
壁置換	壁置換計算方法	自動計算(耐震壁は壁エレメント置換します)	
	耐力壁等のモデル化	平成19年改正後法規	
	開口包絡方法	45度で隅切りしない(開口を含む最外縁で包絡)	
	耐震壁モデル化用耐力壁上下梁せいの比	2.0	
剛度・剛域	柱・梁に接すると判断する壁長さ	15.0(cm)	
	剛域長さの取り方	梁・柱せいの0.25倍引いたもの	
	袖壁、垂れ壁、腰壁のI	実断面からそのままIを計算	
	計算に考慮する袖壁、垂れ壁、腰壁長さ	10.0(cm)	
	壁付帯梁の剛度増大率	鉛直荷重時	100倍
		水平荷重時	自動計算
	スリット付壁による剛度増大率	開口タイプ11以降も考慮する(精算式)	
	片側スラブ付き剛度増大率	自動計算	
	両側スラブ付き剛度増大率	自動計算	
	S造梁の合成梁としての扱い	合成梁として計算しない	
RC、SRC造仕口部のモデル化		剛域を設ける	
地震力・風圧力の作用方向 (基準軸との角度)		X方向	0°
		Y方向	90°

部材断面特性			
大梁My計算に考慮するスラブ筋断面積		14.2(cm ²)	
鉄骨スカラップ孔径		35mm	
S R C 造 梁	フランジ欠損	端部	なし
		継手	ボルト孔による欠損あり
	ウェブのZへの考慮		継手のみ考慮する
	ウェブ欠損率	端部	0(%)
		継手	15(%)
	梁上端フランジfbの取り方		横座屈を考慮
	継手数		両端継手
	継手長さ	左端	120(cm)(通り心から)
		右端	120(cm)(通り心から)
S R C 造 柱	ウェブのZへ考慮		考慮する
	Zの欠損率		0(%)
	Asの欠損率		0(%)
	Anの欠損率		0(%)
	座屈長さ係数	X方向	自動計算
		Y方向	自動計算
	バンドプレートのピッチ		90.0(cm)
梁端部主筋の付着長さ		上端	Lo/4+15.0・d
		下端	Lo/4+20.0・d
柱端部主筋		Lo/2+15.0・d	
梁かぶり		4.0(cm)(ただし、最下層は5.0(cm))	
梁2段筋間隔		自動	
柱かぶり		4.0(cm)	
柱2段筋間隔		自動	
柱芯鉄筋位置		自動	

応力計算条件	
応力計算法	立体解析
鉛直荷重時柱軸方向変位	拘束する(柱軸方向剛性の倍率:100倍)
浮き上がりの考慮	考慮しない
長期柱軸力に使用する積載荷重	地震用

各階剛性低下率	
各階置換エレメントの断面性能修正率	100倍
各階置換フレームの剛性低下率	100倍

偏心率計算条件		
雑壁n値計算の基準荷重による応力の考慮	両方向共φMで入力(φM=1.500)	
面内雑壁のn値	1.00	
	重心計算	剛心計算
地震時による剛床を解除した節点に接続する鉛直部材の考慮	考慮しない	考慮しない
計算法	柱軸力の重心	鉛直部材の剛性から計算
剛心計算時の基礎荷重による応力の考慮	考慮する	
剛性率計算時の層間変形角の求め方	主剛床の剛心位置で算定	

保有水平耐力計算条件				
計算加力方向	X方向正加力		計算する	
	X方向負加力		計算する	
	Y方向正加力		計算する	
	Y方向負加力		計算する	
保有水平耐力の検定比			1.00	
算定対象最上階			12F	
算定対象最下階			1F	
計算種別			耐震診断計算	
基礎重量の比率			0.00	
浮上り・圧縮耐力(鉛直バネ)の考慮			考慮しない(終局時まで支点は解除しない)	
剛性率、偏心率			階毎に雑壁考慮した値と、雑壁考慮しない値の不利な方を用いる	
増分解析打ち切り条件			保有耐力時判定条件に達したら打ち切る	
保有耐力時判定条件			層間変形角	
保有水平耐力算定用限界層間変形	RC、SRC造	1/10		
Ds算定用限界層間変形角	RC、SRC造	1/10		
終局時Co値			保有水平耐力時:0.40	
脆性部材を含むQuの算定方法			Dランク部材にA～Cランク部材を0.70倍して加える	
解析モデル			立体MSモデル	
立体モデルの梁・柱塑性化モデル			危険断面位置と剛域を別とする(剛域は許容応力度等計算で用いた長さ)	
ひび割れによる剛性低下の考慮			考慮する	
曲げ耐力の各ステップの計算			----	
せん断耐力の各ステップの計算			しない	
せん断耐力の求め方			入力したせん断補強筋でせん断耐力を計算し解析を行う	
危険断面位置の取り方		フェースから柱・梁せいの0.00倍引いた位置		
壁付帯梁の剛度増大率			「モデル化条件」の指定による	
SRC造鉄骨柱脚モデル化			ベースプレート下面でモデル化	
せん断終局耐力式のM/Q・dの取り方			告示(M、Qの最大値)	
梁長期応力の考慮			考慮する	
柱、壁、ブレース長期応力(もげ、せん断)の考慮			考慮する	
梁、柱ヒンジ確定のための割増率 α_m			1.00	
ho/DのDの取り方			柱せい	
耐力壁頭部の曲げに対する塑性化			塑性化する	
ヒンジ判定の条件(%)			鋼材の軸羽が95%、又はコンクリート軸バネが100%(立体解析モデルのみ有効)	
せん断力の割増率	柱	両端ヒンジ	α	RC:1.00、SRC:1.00
		その他	α_e	RC:1.00、SRC:1.00
	梁	両端ヒンジ	α	RC:1.00、SRC:1.00
		その他	α_e	RC:1.00、SRC:1.00
	壁	その他	$\alpha、\alpha_e$	RC:1.00、SRC:1.00

耐震診断計算条件(2次診断)		
1次、2次耐震診断の基準		防災協会2001年版RC診断基準、 2009年版SRC診断基準
1次、2次診断時、形状指標の偏心率、剛重比の求め方		診断基準
2次診断の計算方法		正負加力別
2次診断で軸力変動考慮時に地震時軸力の割増係数	α_x (正加力時)	2
	α_x (負加力時)	2
	α_y (正加力時)	2
	α_y (負加力時)	2
長期柱軸力に使用する積載荷重		地震用積載荷重
平均せん断応力度 τ の上限(N/mm ²)	構面内雑壁	2
	構面外雑壁	1
雑壁反曲点高さの取り方		構造階高の1/2
雑壁Fの扱い		RC造、SRC造ともにF=1.0
2次診断の壁筋の計算で梁配筋の考慮		考慮する
壁筋軸力の M_u 、 Q_{su} への考慮		考慮する
袖壁付柱の Q_{su} の計算で、袖壁部分の扱い		実断面のまま
袖壁付柱の M_u の計算で、袖壁部分の扱い		実断面のまま
計算に考慮する袖壁長さ(cm)		10
柱の鉄骨曲げ強度比		軸力N=0の終局曲げ強度
診断で無視した部材が負担する建築重量の考慮		考慮する
E_o 算定に用いるグループ数		RCは11、SRCは12グループ
強度寄与係数の扱い		各グループでの最小値を掛ける
耐震壁等のモデル化		平成19年改正後法規
柱せん断耐力に対する直交壁の考慮		考慮しない
M/Qdの下限值		1.0
残存軸耐力係数 η_r 、軸力支持能力 η_R の取り方		「RC診断基準」の数値
低強度コンクリートのせん断終局強度低減率	RC造	自動計算
	SRC造	自動計算
外力分布(耐震診断用)		外力分布による補正係数: $1/A_i$

耐震診断計算条件(3次診断)		
3次耐震診断の基準	防災協会2001年版診断基準、 2009年版SRC診断基準	
3次診断時、形状指標の偏心率、剛重比の求め方	診断基準	
袖壁付き柱と柱付き壁の区分境界値 B_c	1.5	
梁支配型柱判定用割増率	1.1	
壁の回転終局時係数 γ	1.2	
垂れ壁、腰壁付き梁として扱う壁の高さ(cm)	45	
長期柱軸力に使用する積載荷重	地震用積載荷重	
平均せん断応力度 τ の 上限(N/mm ²)	構面内雑壁	2
	構面外雑壁	1
雑壁反曲点高さの取り方	構造階高の1/2	
雑壁Fの扱い	RC造、SRC造ともに $F=1.0$	
SRC造連装壁靱性指標の扱い	上階まで適用	
袖壁付柱の Q_{su} の計算で、袖壁部分の扱い	実断面のまま	
袖壁付柱の μ_u の計算で、袖壁部分の扱い	実断面のまま	
計算に考慮する袖壁長さ(cm)	10	
柱の鉄骨曲げ強度比	軸力 $N=0$ の終局曲げ強度	
診断で無視した部材が負担する建築重量の考慮	考慮する	
E_o 算定に用いるグループ数	RCは11、SRCは12グループ	
強度寄与係数の扱い	各グループでの最小値を掛ける	
耐震壁等のモデル化	平成19年改正法規	
柱せん断耐力に対する直交壁の考慮	考慮しない	
M/Q_d の下限值	1.0	
残存軸耐力係数 η_r 、軸力支持能力 η_R の取り方	「RC診断基準」の数値	
低強度コンクリートのせん断終局強 度低減率	RC造	自動計算
	SRC造	自動計算
外力分布(耐震診断用)	外力分布による補正係数: $1/A_i$	

構造耐震診断判定指標算定項目	
地域指標 Z	1.0
地盤指標 G	1.0
用途指標 U	1.0
振動特性係数 R_{tx}	自動
振動特性係数 R_{ty}	自動
RC/SRC 1次診断用 E_s	0.8
RC/SRC 2次診断用 E_s	0.6
RC/SRC 3次診断用 E_s	0.6

3-2 建物重量

w : 総重量 (kN)

A : 各層の床面積 (㎡)

w/A : 単位床面積当たりの重量 (kN/㎡)

sum-w : その層より上の総重量 (kN)

sum-A : その層より上の全床面積 (㎡)

階	w		A	w/A		sum-w		sum-A	階の補正係数	
	X 方向	Y 方向		X 方向	Y 方向	X 方向	Y 方向		X 方向	Y 方向
12	1630.81	1630.81	111.20	14.67	14.67	1630.81	1630.81	111.20	0.346	0.346
11	2378.36	2378.36	161.20	14.75	14.75	4009.17	4009.17	272.40	0.462	0.462
10	2438.89	2438.89	161.20	15.13	15.13	6448.06	6448.06	433.60	0.535	0.535
9	2483.31	2483.31	161.20	15.41	15.41	8931.38	8931.38	594.80	0.592	0.592
8	2518.38	2518.38	161.20	15.62	15.62	11449.75	11449.75	756.00	0.642	0.642
7	2586.88	2586.88	161.20	16.05	16.05	14036.64	14036.64	917.20	0.690	0.690
6	2610.42	2610.42	161.20	16.19	16.19	16647.05	16647.05	1078.40	0.736	0.736
5	2660.55	2660.55	161.20	16.50	16.50	19307.61	19307.61	1239.60	0.783	0.783
4	2667.79	2667.79	161.20	15.55	15.55	21975.40	21975.40	1400.80	0.831	0.831
3	2732.44	2732.44	161.20	16.95	16.95	24707.84	24707.84	1562.00	0.882	0.882
2	2758.07	2758.07	161.20	17.11	17.11	27465.91	27465.91	1723.20	0.936	0.936
1	3078.48	3078.48	161.20	19.10	19.10	30544.39	30544.39	1884.40	1.000	1.000

表 4.1.1 中銀京橋マージン履歴外観調査（経年指標（T）の調査表）

[illegible]

No

3-4 S_D 指標

1) 偏心率の算定結果

階	重心位置(m)		偏心率		グレード	
	gy	gx	X	Y	X	Y
12	4.09	13.42	0.065	0.092	1.00	1.00
11	4.39	11.66	0.019	0.097	1.00	1.00
10	4.46	11.15	0.014	0.073	1.00	1.00
9	4.49	10.92	0.013	0.063	1.00	1.00
8	4.51	10.79	0.010	0.057	1.00	1.00
7	4.51	10.70	0.010	0.053	1.00	1.00
6	4.51	10.64	0.007	0.048	1.00	1.00
5	4.51	10.59	0.007	0.046	1.00	1.00
4	4.51	10.55	0.003	0.044	1.00	1.00
3	4.51	10.52	0.001	0.010	1.00	1.00
2	4.50	10.49	0.012	0.009	1.00	1.00
1	4.53	10.51	0.009	0.114	1.00	0.90

2) 剛重比の算定結果

階	剛心位置(m)		剛重比 (cm/kN)		β	上下層の比 n		グレード	
	ly	lx	X	Y		X	Y	X	Y
12	5.14	14.90	0.090	0.174	2.00	1.188	1.581	1.00	0.90
11	4.80	9.56	0.054	0.137	0.50	0.842	0.632	1.00	1.00
10	4.77	9.56	0.035	0.085	0.67	1.025	1.072	1.00	1.00
9	4.77	9.56	0.025	0.062	0.75	1.029	1.029	1.00	1.00
8	4.73	9.55	0.021	0.049	0.80	0.982	1.026	1.00	1.00
7	4.73	9.55	0.017	0.040	0.83	1.022	1.022	1.00	1.00
6	4.66	9.59	0.015	0.038	0.86	0.947	0.892	1.00	1.00
5	4.66	9.59	0.013	0.033	0.88	1.001	1.001	1.00	1.00
4	4.58	9.59	0.013	0.029	0.89	0.921	1.015	1.00	1.00
3	4.53	10.31	0.012	0.028	0.90	0.962	0.943	1.00	1.00
2	4.25	10.30	0.011	0.025	0.91	1.016	1.014	1.00	1.00
1	4.33	12.98	0.008	0.014	0.92	1.240	1.240	1.00	0.90

3) 形状指標算出用グレード

項目			Gi(グレード)			R(レンジ調整係数)	
			1.0	0.9	0.8	R1j	R2j
第1次・第2次診断用	平面形状	a 整形性	整形a1	ほぼ整形a2	不整形a3	1.00	0.50
		b 辺長比	$b \leq 5$	$5 < b \leq 8$	$8 < b$	0.50	0.25
		c くびれ	$0.8 \leq c$	$0.5 \leq c < 8$	$c < 0.5$	0.50	0.25
		d エキスパンションジョイント	$1/100 \leq d$	$1/200 \leq d < 1/100$	$d < 1/200$	0.50	0.25
		e 吹抜け	$e \leq 0.1$	$0.1 < e \leq 0.3$	$0.3 < e$	0.50	0.25
		f 吹抜けの偏在	$f1 \leq 0.4$ かつ $f2 \leq 0.1$	$f1 \leq 4$ かつ $0.1 < f2 \leq 0.3$	$0.4 < f1$ または $0.3 < f2$	0.25	
		g					
	断面形状	h 地下室の有無	$1.0 \leq h$	$0.5 \leq h < 1.0$	$h < 0.5$	1.00	1.00
		i 層高の均等性	$0.8 \leq i$	$0.7 \leq i < 0.8$	$i < 0.7$	0.50	0.25
		j ピロティの有無	ピロティなし	全てピロティ	ピロティが偏在	1.00	1.00
		k					
第2次診断用	平面剛性	l 重心-剛心の偏心率	$l \leq 0.1$	$0.1 < l \leq 0.15$	$0.15 < l$		1.00
		m					
	断面剛性	n 上下層の(剛/重)比	$n \leq 1.3$	$1.3 < n \leq 1.7$	$1.7 < n$		1.00
		o					

※1 Y方向1階のみ

※2 Y方向1、12階のみ

4) S_D 指標の算定結果

階	SD 指標	
	X	Y
12	0.800	0.720
11	0.800	0.800
10	0.800	0.800
9	0.800	0.800
8	0.800	0.800
7	0.800	0.800
6	0.800	0.800
5	0.800	0.800
4	0.800	0.800
3	0.800	0.800
2	0.800	0.800
1	0.800	0.648

3-5 診断結果

+X方向診断表

建物名称：中銀京橋マンション

建設年月日：

全階数：12 地下階数：0

診断年月日：

診断担当者：

RC階の構造耐震判定指標 $I_{so} = E_s \cdot Z \cdot G \cdot U = 0.60 \cdot 1.00 \cdot 1.00 \cdot 1.00 = 0.60$

RC階のCTUSDの判定条件 $0.3 \cdot Z \cdot G \cdot U = 0.3 \cdot 1.00 \cdot 1.00 \cdot 1.00 = 0.30$

SRC階X方向の構造耐震判定指標 $I_{so} = E_s \cdot Z \cdot R_t \cdot G \cdot U = 0.60 \cdot 1.00 \cdot 1.00 \cdot 1.00 \cdot 1.00 = 0.60$

SRC階X方向充腹形のCTUSDの判定条件 $0.25 \cdot Z \cdot R_t \cdot G \cdot U = 0.25 \cdot 1.00 \cdot 1.00 \cdot 1.00 \cdot 1.00 = 0.25$

SRC階X方向非充腹形のCTUSDの判定条件 $0.28 \cdot Z \cdot R_t \cdot G \cdot U = 0.28 \cdot 1.00 \cdot 1.00 \cdot 1.00 \cdot 1.00 = 0.28$

柱脚部検討L、R付き：L：正加力時；R：負加力時；正負加力平均の場合、小さい方とし、等しい場合はLとします。

階の補正係数：1/Aiによります。

(注) 第2種構造要素の候補本数：F<Fu'かつNr≤Nの部材本数、()内はF<Fu'の部材本数

E0、SD、T、Is、CTUSDの出力結果は末尾の下の桁を切り捨てています。

他は四捨五入で表示しています。

階	構造種別	階の補正係数	Fu'	F1	C1	F2	C2	F3	C3	Eo	SD	T	Is	CTUSD	第2種構造要素候補本数	判定
12F	RC	0.346	1.00	1.00	2.26					0.779	0.800	0.981	0.612	0.623	0(0)	OK
			1.27	1.00	0.88	1.27	1.54			0.740			0.581	0.424	0(1)	
			1.40	1.00	1.39	1.40	1.04			0.693			0.543	0.286	1(2)	
			2.80	1.00	2.10	2.80	0.21			0.755			0.593	0.058	1(5)	
11F	RC	0.462	0.80	0.80	1.16					0.428	0.800	0.981	0.336	0.428	0(0)	NG
			1.00	1.00	1.12					0.515			0.404	0.412	0(2)	
			1.40	1.00	0.56	1.40	0.71			0.525			0.412	0.261	0(4)	
			2.40	1.00	1.04	2.40	0.10			0.494			0.388	0.037	0(9)	
10F	RC	0.535	0.80	0.80	0.86					0.366	0.800	0.981	0.287	0.366	0(0)	NG
			1.00	1.00	0.69					0.366			0.287	0.293	0(3)	
			1.40	1.00	0.28	1.40	0.52			0.412			0.324	0.220	0(4)	
			2.80	1.00	0.28	1.40	0.43	2.80	0.08	0.376			0.295	0.034	0(9)	
9F	RC	0.592	0.80	0.80	0.64					0.302	0.800	0.981	0.237	0.302	0(0)	NG
			1.00	1.00	0.62					0.368			0.289	0.295	0(2)	
			1.40	1.00	0.29	1.40	0.41			0.383			0.300	0.195	0(4)	
			2.00	1.00	0.57	2.00	0.07			0.349			0.274	0.032	0(9)	
8F	RC	0.642	0.80	0.80	0.58					0.297	0.800	0.981	0.233	0.297	0(0)	NG
			1.00	1.00	0.44					0.279			0.219	0.223	0(3)	
			1.27	1.00	0.14	1.27	0.36			0.305			0.239	0.183	0(4)	
			1.40	1.00	0.20	1.40	0.29			0.289			0.227	0.147	0(5)	
7F	SRC	0.690	1.60	1.00	0.14	1.27	0.29	1.60	0.07	0.263	0.800	0.981	0.206	0.033	0(9)	NG
			1.00	1.00	0.77					0.530			0.416	0.424	0(0)	
			1.27	1.00	0.07	1.27	0.75			0.659			0.517	0.414	0(0)	
			1.60	1.00	0.07	1.27	0.37	1.60	0.38	0.533			0.418	0.211	0(4)	
6F	SRC	0.736	3.20	1.00	0.07	1.27	0.45	3.20	0.30	0.777	0.800	0.981	0.610	0.167	0(5)	NG
			1.00	1.00	0.70					0.518			0.407	0.414	0(0)	
			1.27	1.00	0.06	1.27	0.72			0.672			0.527	0.422	0(0)	
			1.40	1.00	0.21	1.40	0.57			0.605			0.475	0.334	0(2)	
5F	SRC	0.783	2.00	1.00	0.06	1.27	0.23	2.00	0.49	0.749	0.800	0.981	0.588	0.286	0(3)	NG
			2.80	1.00	0.06	1.27	0.33	2.80	0.39	0.858			0.673	0.228	0(4)	
			3.20	1.00	0.06	1.27	0.48	3.20	0.24	0.717			0.563	0.139	0(6)	
			1.00	1.00	0.60					0.471			0.369	0.377	0(0)	
			1.27	1.00	0.05	1.27	0.62			0.620			0.487	0.390	0(0)	
			1.80	1.00	0.05	1.27	0.17	1.80	0.46	0.664			0.521	0.285	0(2)	
			2.00	1.00	0.05	1.27	0.25	2.00	0.37	0.632			0.496	0.231	0(3)	
			2.80	1.00	0.05	1.27	0.29	2.80	0.34	0.792			0.621	0.210	0(4)	
			3.20	1.00	0.05	1.27	0.42	3.20	0.20	0.658			0.516	0.126	0(6)	

4F	SRC	0.831	1.00	1.00	0.64					0.529	0.800	0.981	0.415	0.423	0(0)	
			1.27	1.00	0.04	1.27	0.64			0.680			0.534	0.428	0(0)	
			1.80	1.00	0.14	1.80	0.55			0.831			0.652	0.365	0(1)	OK
			2.00	1.00	0.04	1.27	0.18	2.00	0.46	0.791			0.620	0.306	0(2)	
			2.40	1.00	0.04	1.27	0.21	2.40	0.44	0.897			0.704	0.289	0(3)	
			2.80	1.00	0.14	1.80	0.19	2.80	0.36	0.887			0.696	0.237	0(4)	
			3.20	1.00	0.14	1.80	0.27	3.20	0.28	0.852			0.669	0.185	0(5)	
3F	SRC	0.882	1.00	1.00	0.58					0.511	0.800	0.981	0.401	0.409	0(0)	
			1.27	1.00	0.04	1.27	0.60			0.670			0.526	0.421	0(0)	
			2.00	1.00	0.04	1.27	0.16	2.00	0.43	0.789			0.619	0.306	0(2)	OK
			2.40	1.00	0.04	1.27	0.32	2.40	0.27	0.683			0.536	0.192	0(5)	
			3.20	1.27	0.16	2.00	0.24	3.20	0.20	0.722			0.567	0.140	0(6)	
2F	SRC	0.936	1.00	1.00	0.71					0.665	0.800	0.981	0.522	0.532	0(0)	
			1.27	1.00	0.05	1.27	0.66			0.786			0.616	0.494	0(1)	
			1.60	1.00	0.22	1.60	0.49			0.765			0.601	0.368	0(3)	
			1.80	1.00	0.05	1.27	0.25	1.80	0.41	0.752			0.590	0.306	0(4)	
			2.40	1.00	0.05	1.27	0.33	2.40	0.33	0.837			0.656	0.245	0(5)	NG
			2.80	1.00	0.05	1.27	0.39	2.80	0.27	0.843			0.661	0.200	0(6)	
			3.20	1.00	0.05	1.27	0.46	3.20	0.20	0.808			0.634	0.147	0(7)	
1F	SRC	1.000	1.00	1.00	0.57					0.571	0.800	0.981	0.448	0.456	0(0)	
			1.40	1.00	0.08	1.40	0.56			0.782			0.613	0.444	0(1)	
			1.60	1.00	0.08	1.40	0.16	1.60	0.40	0.681			0.534	0.320	0(3)	
			2.00	1.00	0.08	1.40	0.23	2.00	0.32	0.728			0.571	0.258	0(4)	
			2.80	1.00	0.08	1.40	0.24	2.80	0.32	0.954			0.749	0.254	0(5)	
			3.20	1.40	0.24	2.80	0.21	3.20	0.11	0.760			0.596	0.085	0(8)	
			柱脚部検討			1.27	0.24				0.309L		0.242L	0.194L		NG

-X方向診断表

建物名称：中銀京橋マンション

建設年月日：

全階数：12 地下階数：0

診断年月日：

診断担当者：

RC階の構造耐震判定指標 $I_{so} = E_s \cdot Z \cdot G \cdot U = 0.60 \cdot 1.00 \cdot 1.00 \cdot 1.00 = 0.60$

RC階のCTUSDの判定条件 $0.3 \cdot Z \cdot G \cdot U = 0.3 \cdot 1.00 \cdot 1.00 \cdot 1.00 = 0.30$

SRC階X方向の構造耐震判定指標 $I_{so} = E_s \cdot Z \cdot R_t \cdot G \cdot U = 0.60 \cdot 1.00 \cdot 1.00 \cdot 1.00 \cdot 1.00 = 0.60$

SRC階X方向充腹形のCTUSDの判定条件 $0.25 \cdot Z \cdot R_t \cdot G \cdot U = 0.25 \cdot 1.00 \cdot 1.00 \cdot 1.00 \cdot 1.00 = 0.25$

SRC階X方向非充腹形のCTUSDの判定条件 $0.28 \cdot Z \cdot R_t \cdot G \cdot U = 0.28 \cdot 1.00 \cdot 1.00 \cdot 1.00 \cdot 1.00 = 0.28$

柱脚部検討L、R付き：L：正加力時；R：負加力時；正負加力平均の場合、小さい方とし、等しい場合はLとします。

階の補正係数：1/Aiによります。

(注) 第2種構造要素の候補本数：F<Fu'かつNr≤Nの部材本数、()内はF<Fu'の部材本数

E0、SD、T、Is、CTUSDの出力結果は末尾の下の桁を切り捨てています。

他は四捨五入で表示しています。

階	構造種別	階の補正係数	Fu'	F1	C1	F2	C2	F3	C3	E0	SD	T	Is	CTUSD	第2種構造要素候補本数	判定
12F	RC	0.346	1.00	1.00	2.55					0.881	0.800	0.981	0.691	0.705	0(0)	OK
			1.40	1.00	1.63	1.40	1.09			0.770			0.604	0.300	1(2)	
			3.20	1.00	2.42	3.20	0.18			0.860			0.675	0.049	1(5)	
11F	RC	0.462	0.80	0.80	1.23					0.456	0.800	0.981	0.357	0.456	0(0)	NG
			1.00	1.00	0.91					0.422			0.331	0.338	0(3)	
			1.40	1.00	0.36	1.40	0.70			0.484			0.380	0.259	0(4)	
			3.20	1.00	0.36	1.40	0.63	3.20	0.08	0.452			0.355	0.028	0(9)	
10F	RC	0.535	0.80	0.80	0.86					0.366	0.800	0.981	0.287	0.366	0(0)	NG
			1.00	1.00	0.69					0.371			0.291	0.296	0(3)	
			1.40	1.00	0.28	1.40	0.52			0.414			0.325	0.220	0(4)	
			3.20	1.00	0.28	1.40	0.46	3.20	0.06	0.387			0.304	0.024	0(9)	
9F	RC	0.592	0.80	0.80	0.68					0.320	0.800	0.981	0.251	0.320	0(0)	NG
			1.00	1.00	0.55					0.327			0.256	0.261	0(3)	
			1.40	1.00	0.22	1.40	0.41			0.366			0.287	0.196	0(4)	
			3.20	1.00	0.22	1.40	0.37	3.20	0.04	0.342			0.269	0.020	1(9)	
8F	RC	0.642	0.80	0.80	0.61					0.315	0.800	0.981	0.247	0.315	0(0)	NG
			1.00	1.00	0.39					0.247			0.194	0.198	0(4)	
			1.13	1.00	0.09	1.13	0.34			0.251			0.197	0.173	0(4)	
			1.40	1.00	0.14	1.40	0.28			0.265			0.208	0.143	0(5)	
			3.20	1.00	0.14	1.40	0.24	3.20	0.04	0.246			0.193	0.019	0(9)	
7F	SRC	0.690	1.00	1.00	0.69					0.477	0.800	0.981	0.374	0.382	0(0)	NG
			1.27	1.00	0.07	1.27	0.73			0.639			0.502	0.401	0(0)	
			2.40	1.00	0.07	1.27	0.37	2.40	0.36	0.679			0.533	0.198	0(4)	
			3.20	1.00	0.07	1.27	0.44	3.20	0.29	0.748			0.587	0.160	0(5)	
6F	SRC	0.736	1.00	1.00	0.67					0.493	0.800	0.981	0.387	0.394	0(0)	NG
			1.27	1.00	0.06	1.27	0.69			0.650			0.510	0.408	0(0)	
			1.60	1.00	0.06	1.27	0.16	1.60	0.54	0.650			0.510	0.316	0(2)	
			2.00	1.00	0.06	1.27	0.24	2.00	0.46	0.709			0.556	0.268	0(3)	
			3.20	1.00	0.06	1.27	0.34	3.20	0.36	0.901			0.707	0.210	0(4)	
5F	SRC	0.783	1.00	1.00	0.60					0.468	0.800	0.981	0.367	0.375	0(0)	NG
			1.27	1.00	0.05	1.27	0.61			0.605			0.475	0.380	0(0)	
			1.40	1.00	0.19	1.40	0.47			0.532			0.417	0.292	0(2)	
			2.00	1.00	0.05	1.27	0.21	2.00	0.39	0.653			0.512	0.246	0(3)	
			3.20	1.00	0.05	1.27	0.30	3.20	0.31	0.827			0.649	0.192	0(4)	
4F	SRC	0.831	1.00	1.00	0.63					0.519	0.800	0.981	0.407	0.415	0(0)	OK
			1.27	1.00	0.04	1.27	0.63			0.662			0.519	0.416	0(0)	
			2.00	1.00	0.19	2.00	0.48			0.820			0.643	0.322	0(2)	
			2.40	1.00	0.04	1.27	0.23	2.40	0.40	0.827			0.649	0.263	0(3)	
			2.80	1.00	0.04	1.27	0.31	2.80	0.32	0.811			0.637	0.212	0(4)	
			3.20	1.00	0.19	2.00	0.19	3.20	0.29	0.853			0.669	0.193	0(5)	
3F	SRC	0.882	1.00	1.00	0.56					0.495	0.800	0.981	0.388	0.396	0(0)	OK
			1.27	1.00	0.04	1.27	0.58			0.652			0.511	0.410	0(0)	
			2.40	1.00	0.04	1.27	0.21	2.40	0.37	0.821			0.644	0.262	0(3)	
			2.80	1.00	0.04	1.27	0.31	2.80	0.27	0.760			0.596	0.193	0(5)	
			3.20	1.27	0.21	2.40	0.17	3.20	0.20	0.715			0.561	0.143	0(6)	

2F	SRC	0.936	1.00	1.00	0.68					0.636	0.800	0.981	0.499	0.509	0(0)	
			1.27	1.00	0.02	1.27	0.67			0.795			0.624	0.500	0(0)	
			1.40	1.00	0.02	1.27	0.14	1.40	0.53	0.712			0.559	0.395	0(2)	
			1.60	1.00	0.02	1.27	0.22	1.60	0.45	0.725			0.569	0.339	0(3)	
			2.40	1.00	0.02	1.27	0.30	2.40	0.37	0.905			0.710	0.277	0(4)	OK
			3.20	1.00	0.02	1.27	0.44	3.20	0.23	0.867			0.681	0.173	0(6)	
1F	SRC	1.000	1.00	1.00	0.61					0.607	0.800	0.981	0.476	0.486	0(0)	
			1.27	1.00	0.08	1.27	0.59			0.749			0.587	0.469	0(1)	
			1.80	1.00	0.16	1.80	0.51			0.924			0.725	0.405	0(2)	
			2.00	1.00	0.24	2.00	0.43			0.887			0.696	0.342	0(3)	
			2.80	1.00	0.16	1.80	0.15	2.80	0.35	1.036			0.813	0.281	0(4)	
			3.20	1.00	0.16	1.80	0.32	3.20	0.18	0.839			0.659	0.146	0(7)	
				1.27	0.51					0.646R			0.507R	0.406R		NG
	柱脚部検討															

+Y方向診断表

建物名称：中銀京橋マンション

建設年月日：

全階数：12 地下階数：0

診断年月日：

診断担当者：

RC階の構造耐震判定指標 $I_{so} = E_s \cdot Z \cdot G \cdot U = 0.60 \cdot 1.00 \cdot 1.00 \cdot 1.00 = 0.60$

RC階のCTUSDの判定条件 $0.3 \cdot Z \cdot G \cdot U = 0.3 \cdot 1.00 \cdot 1.00 \cdot 1.00 = 0.30$

SRC階Y方向の構造耐震判定指標 $I_{so} = E_s \cdot Z \cdot R_t \cdot G \cdot U = 0.60 \cdot 1.00 \cdot 1.00 \cdot 1.00 \cdot 1.00 = 0.60$

SRC階Y方向充腹形のCTUSDの判定条件 $0.25 \cdot Z \cdot R_t \cdot G \cdot U = 0.25 \cdot 1.00 \cdot 1.00 \cdot 1.00 \cdot 1.00 = 0.25$

SRC階Y方向非充腹形のCTUSDの判定条件 $0.28 \cdot Z \cdot R_t \cdot G \cdot U = 0.28 \cdot 1.00 \cdot 1.00 \cdot 1.00 \cdot 1.00 = 0.28$

柱脚部検討L, R付き：L:正加力時；R:負加力時；正負加力平均の場合、小さい方とし、等しい場合はLとします。

階の補正係数：1/Aiによります。

(注) 第2種構造要素の候補本数：F<Fu'かつNr≤Nの部材本数、()内はF<Fu'の部材本数

E0、SD、T、Is、CTUSDの出力結果は末尾の下桁を切り捨てています。

他は四捨五入で表示しています。

階	構造種別	階の補正係数	Fu'	F1	C1	F2	C2	F3	C3	E0	SD	T	Is	CTUSD	第2種構造要素候補本数	判定
12F	RC	0.346	1.00	1.00	4.37					1.511	0.720	0.981	1.067	1.087	0(0)	OK
			1.80	1.00	4.12	1.80	0.34			1.441			1.018	0.085	1(1)	
11F	RC	0.462	1.00	1.00	3.24					1.495	0.800	0.981	1.173	1.196	0(0)	OK
10F	RC	0.535	1.00	1.00	2.10					1.124	0.800	0.981	0.882	0.899	0(0)	OK
9F	RC	0.592	1.00	1.00	1.51					0.892	0.800	0.981	0.700	0.713	0(0)	OK
			1.40	1.00	1.37	1.40	0.14			0.819			0.643	0.064	1(1)	
8F	RC	0.642	1.00	1.00	1.25					0.804	0.800	0.981	0.631	0.643	0(0)	OK
			1.27	1.00	0.99	1.27	0.26			0.671			0.527	0.133	0(0)	
7F	SRC	0.690	1.27	1.27	1.24					1.088	0.800	0.981	0.854	0.685	0(0)	OK
6F	SRC	0.736	1.27	1.27	1.14					1.061	0.800	0.981	0.832	0.668	0(0)	OK
			1.27	1.27	0.93					0.921			0.723	0.580	0(0)	OK
5F	SRC	0.783	1.60	1.27	0.78	1.60	0.15			0.795	0.800	0.981	0.624	0.093	0(0)	
			1.27	1.27	0.83					0.876			0.687	0.552	0(0)	OK
4F	SRC	0.831	1.60	1.27	0.70	1.60	0.13			0.758	0.800	0.981	0.595	0.087	0(0)	
			1.27	1.27	0.79					0.887			0.696	0.559	0(0)	OK
3F	SRC	0.882	1.60	1.27	0.53	1.60	0.27			0.699	0.800	0.981	0.548	0.188	0(0)	
			1.80	1.27	0.68	1.80	0.11			0.781			0.613	0.080	0(0)	
2F	SRC	0.936	1.27	1.27	0.77					0.919	0.800	0.981	0.721	0.579	0(0)	OK
			1.00	1.00	0.75					0.752			0.478	0.487	0(0)	
			1.27	1.00	0.01	1.27	0.75			0.954			0.606	0.486	0(0)	
			1.60	1.00	0.01	1.27	0.53	1.60	0.23	0.758			0.482	0.146	0(2)	
			2.00	1.00	0.01	1.27	0.66	2.00	0.09	0.857			0.544	0.059	0(2)	
			2.40	1.00	0.01	1.27	0.72	2.40	0.03	0.920			0.585	0.018	0(3)	
1F	SRC	1.000		1.27	0.37					0.469L			0.298L	0.239L		NG
	柱脚部検討															

-Y方向診断表

建物名称：中銀京橋マンション

建設年月日：

全階数：12 地下階数：0

診断年月日：

診断担当者：

RC階の構造耐震判定指標 $I_{so} = E_s \cdot Z \cdot G \cdot U = 0.60 \cdot 1.00 \cdot 1.00 \cdot 1.00 = 0.60$

RC階のCTUSDの判定条件 $0.3 \cdot Z \cdot G \cdot U = 0.3 \cdot 1.00 \cdot 1.00 \cdot 1.00 = 0.30$

SRC階Y方向の構造耐震判定指標 $I_{so} = E_s \cdot Z \cdot R_t \cdot G \cdot U = 0.60 \cdot 1.00 \cdot 1.00 \cdot 1.00 \cdot 1.00 = 0.60$

SRC階Y方向充腹形のCTUSDの判定条件 $0.25 \cdot Z \cdot R_t \cdot G \cdot U = 0.25 \cdot 1.00 \cdot 1.00 \cdot 1.00 \cdot 1.00 = 0.25$

SRC階Y方向非充腹形のCTUSDの判定条件 $0.28 \cdot Z \cdot R_t \cdot G \cdot U = 0.28 \cdot 1.00 \cdot 1.00 \cdot 1.00 \cdot 1.00 = 0.28$

柱脚部検討L,R付き：L：正加力時；R：負加力時；正負加力平均の場合、小さい方とし、等しい場合はLとします。

階の補正係数：1/Aiによります。

(注) 第2種構造要素の候補本数：F<Fu'かつNr≤Nの部材本数、()内はF<Fu'の部材本数

E0、SD、T、Is、CTUSDの出力結果は末尾の下桁を切り捨てています。

他は四捨五入で表示しています。

階	構造種別	階の補正係数	Fu'	F1	C1	F2	C2	F3	C3	Eo	SD	T	Is	CTUSD	第2種構造要素候補本数	判定
12F	RC	0.346	1.00 1.60	1.00 1.00	4.38 4.12	 1.60	 0.36	 	 	1.512 1.437	0.720	0.981	1.068 1.015	1.088 0.088	0(0) 1(1)	OK
11F	RC	0.462	1.00	1.00	3.26	 	 	 	 	1.505	0.800	0.981	1.181	1.204	0(0)	OK
10F	RC	0.535	1.00	1.00	2.10	 	 	 	 	1.124	0.800	0.981	0.882	0.899	0(0)	OK
9F	RC	0.592	1.00 1.40	1.00 1.00	1.51 1.38	 1.40	 0.13	 	 	0.894 0.823	0.800	0.981	0.701 0.646	0.715 0.062	0(0) 1(1)	OK
8F	RC	0.642	1.00 2.00	1.00 1.00	1.19 1.00	 2.00	 0.20	 	 	0.766 0.688	0.800	0.981	0.601 0.540	0.613 0.100	0(0) 0(0)	OK
7F	SRC	0.690	1.27 1.40	1.27 1.27	1.24 1.01	 1.40	 0.23	 	 	1.088 0.913	0.800	0.981	0.854 0.716	0.685 0.127	0(0) 0(0)	OK
6F	SRC	0.736	1.27 1.60	1.27 1.27	1.13 0.95	 1.60	 0.18	 	 	1.055 0.911	0.800	0.981	0.828 0.715	0.664 0.106	0(0) 0(0)	OK
5F	SRC	0.783	1.27 2.00	1.27 1.27	0.92 0.78	 2.00	 0.14	 	 	0.915 0.808	0.800	0.981	0.718 0.634	0.576 0.085	0(0) 0(0)	OK
4F	SRC	0.831	1.27 2.00	1.27 1.27	0.82 0.71	 2.00	 0.12	 	 	0.869 0.770	0.800	0.981	0.682 0.604	0.547 0.078	0(0) 0(0)	OK
3F	SRC	0.882	1.27 2.00	1.27 1.27	0.77 0.53	 2.00	 0.24	 	 	0.863 0.729	0.800	0.981	0.677 0.572	0.543 0.167	0(0) 0(0)	OK
2F	SRC	0.936	1.27	1.27	0.78	 	 	 	 	0.925	0.800	0.981	0.725	0.582	0(0)	OK
1F	SRC	1.000	1.00	1.00	0.72	 	 	 	 	0.717	0.648	0.981	0.455	0.464	0(0)	NG
			1.27	1.00	0.01	1.27	0.73	 	 	0.927			0.589	0.473	0(0)	
			1.60	1.00	0.01	1.27	0.37	1.60	0.36	0.741			0.471	0.230	0(2)	
			1.80	1.00	0.01	1.27	0.51	1.80	0.22	0.759			0.483	0.141	0(2)	
			2.80	1.00	0.01	1.27	0.66	2.80	0.08	0.858			0.545	0.048	0(2)	
	柱脚部検討		1.27	0.47	 	 	 	 	0.594R				0.378R	0.303R		